

阪神大震災から24年！

わたしたちは何を記憶しているのか？ いま、住民復興活動を見つめなおす。



映画『阪神大震災 再生の日々を生きる』

トークセッション

2019年
1/12 土

『阪神大震災 再生の日々を生きる』(2時間36分)

上映作品

1回目 13:30~16:10

2回目 18:15~20:55

トーク

1回目

16:20~17:20

山本俊哉(明治大学理工学部建築学科 教授)

加藤孝明(東京大学生産技術研究所 准教授)

渡邊 岳(佐藤研究室OB / 株式会社アール・アイ・エー)

青池憲司(映画監督)

2回目

21:00~21:45

齋藤 博(大東文化大学 社会学部 准教授)

饗庭 伸(首都大学東京 都市環境科学研究科 教授)

青池憲司(映画監督)

会場: シネマハウス大塚

東京都豊島区巢鴨4-7-4-101
(折戸通り 都立文京高校正門前)
TEL.03-5972-4130

JR山手線「大塚駅」北口から徒歩7分、
都電荒川線「巣鴨新田駅」より徒歩3分

【料金】 一般:1,500円
学生:1,000円
高校生以下:500円



2020年は阪神大震災から25年になります。その被害の甚大さはいうまでもありませんが、被災直後からの住民復興活動もまた画期的なものでした。住民を主体にして、専門家、行政の協同作業がみられました。それは、たんに復興期の活動に終らず、地域社会（コミュニティ）のありようを変える活動に継続されていきました。

被災25年をまえに、2019年は阪神大震災における住民活動を見つめなおし、学びなおす年にしたいと考えます。その手懸りの一つとして、ドキュメンタリー映画『阪神大震災 再生の日々を生きる』の上映とトークの会を開きます。

この作品は、神戸市長田区野田北部という一地域にカメラを据えて、震災直後から1999年4月まで、4年3か月におよぶコミュニティ再生のプロセスを記録した長編ドキュメンタリー映画です。

製作／野田北部を記録する会

監督／青池憲司 撮影／千葉景房 編集／村本勝 音声／青池雄太

音楽／津田左近 ナレーター／古谷敏郎

1月12日(土)

1回目

13:00／開場

13:30～16:10／映画上映

16:20～17:20／トーク

2回目

17:45／開場

18:15～20:55／映画上映

21:00～21:45／トーク

●主 催：野田北部を記録する会

●協 力：早稲田都市計画フォーラム

●お問い合わせ：野田北部を記録する会

<http://nodahokubu.web.fc2.com/>

●Eメール：aobeka2@kfy.biglobe.ne.jp

●TEL：090-4023-5822（当日のみ有効）